

梅 檀

『優勝』おめでとう

第100回国頭地区
ミニバスケットボール交換会

先週、23日（土）、24日（日）名護市を主会場に開催された国頭地区ミニバスケットボール交換会において、本校の5、6年生を中心にした男女混成チームが見事「優勝」しました。

チームが結成されて、まだ間もないのですが、まさかの「優勝」で驚きと喜びで戸惑っています。とにかく優勝おめでとうございます。



優勝おめでとうございます。月曜日に6年生から「優勝」の報告を受け、びっくりと喜びでいっぱいでした。部活が結成されてまだ間もないのですが、快拳と言っているのではないのでしょうか。優勝の勝因を子ども達に聞いてみると、ベストプレイヤー賞をもらった山川優生史さんと、長身の比嘉琉衣さんの活躍で優勝できたとのことでした。二人には素直に感謝します。しかし：実際には二人で優勝することは不可能ですね、そこにはやはりチームとしての「まとまり」や日頃の練習や周りの「みんな」があり、チーム全員が頑張ったからできた優勝だと思います。6年の宮城隼さんは、「勝因は、チーム全員が心を一つにして一致団結して戦ったから」と言ってくれました。素敵な言葉に改めて感激でした。

さて、「優勝」は字の通り「優れる」者が「勝つ」という意味ですが、別の読み方では「優しい」者が「勝る」とも意味づけられます。やさしい仲間たちの集団が日頃の練習から協力して励むこと（努力）によって獲得することのできる貴重な「優勝」なのです。今後「優勝の名に恥じない「優しい」辺土名小のチームであることを希望します。

地域を学ぶ

地域から学ぶ

「国頭村のよさって何ですか?」この問いに異口同音出てくる言葉は「自然が豊か」である。子ども達も教室を出て、地域からいろいろと学びを獲得していく。写真は3年生が環境省やんばる野生生物保護センターにて国頭の自然について学んでいるところ、専門委員の方の話に真剣に聞き入る3年生。

ウフギー館で学んだこと

〈具志堅花野〉



わたしは、ウフギー自然館の上開地さんにいろんなことを教えてもらいました。おいそがしい中ビデオも見せてもらって、ありがとうございました。ペットの犬やねこが捨てられて大変なことになっていることもよくわかりました。いろいろありがとうございました。

ウフギー館で学んだこと 〈山城 競〉

レンジャーの上開地さんが、ロードキルのことや外来種の影響を教えてくださいました。マングースが絶滅危惧種を食べていること、古代の動物がなぜ沖縄本島にいるのか?などいろいろ教えてくださいました。上開地さんありがとうございました。

1年生はスズメについて学ぶ

1年生は、国語の学習でスズメについて、ウフギー館の専門の先生に学びました。ここでも子ども達は楽しく、いろんなことを学びました。地域の方から学ぶ貴重な時間、ありがとうございました。

